

冬道の危険を予知して、最大限の事故回避を

◆スリップ事故 注意！◆  
峠・橋の上・日陰・トンネルの出入り口  
交差点手前、滑って交差点内で衝突！注意しましょう

日没前後の交通事故死 大幅増加

## 車輪脱落事故、国交省が防止の徹底を通告

- ◇タイヤ交換時や、日常の運行前点検での確認
- ◇50～100km走行後を目安にした増し締め
- ◇専用ボルトとナットの使用

頻繁にタイヤ交換する積雪地域での発生率が高い  
車輪脱着作業後2カ月以内に発生した事故が、全体の7割以上

2016年11月4日(金) 16時39分

国土交通省は、大型車(トラック、バス)のホイール・ボルト折損による車輪脱落事故が依然として高水準で発生しているため、車輪脱落事故防止の徹底を業界団体などに通告した。

国交省では、2015年度中の事故発生件数は41件で前年度比4件減、うち人身事故が1件で、発生件数は4年ぶりに減少したものの依然として高い水準で発生している。特に昨年11月から今年3月の冬期に24件と多発しており、頻繁にタイヤ交換する積雪地域での発生率が高い。

事故直近に行われた車輪脱着作業は、タイヤ交換やローテーションなどの作業が28件(全体の68.3%)、定期点検整備や臨時整備が8件(19.5%)。作業者は大型車ユーザーが22件、整備工場が9件、タイヤ専門店が5件。車輪脱着作業後2カ月以内に発生した事故が30件と全体の7割以上を占めた。

大型自動車のホイール・ボルト折損による車輪脱落事故防止のため、タイヤ交換時や日頃の点検時、規定のトルクでの確実な締め付けや、50～100km走行後を目安にした増し締め、日常(運行前)点検での確認、専用ボルトとナットの使用を関係団体に通告した。

気のゆるみ スピード出し過ぎていませんか？

交差点 信号が、「青」に変わった！ チョット待て！ もう一度、安全確認しよう

バックは、『カメが歩くスピードの気持ちで！』

車間距離を十分に！ 滑って、追突を未然に防止

夕方、夜間、早朝 要注意！ 歩行者が見えにくい 道路が滑りやすい

## 交通規制の誘導中… トラックにひかれ、作業員死亡

◇車が動いているときは、いかなる場合も 常に、100%運転に集中しましょう◇

(2016/11/02 23:45)

2日午前5時50分ごろ、富山県の北陸自動車道で、トラックを運転していた男性(66)から「工事現場で人をひいた」と通報がありました。この事故で、交通規制の誘導をしていた作業員の男性(55)がトラックにひかれ、搬送先の病院で死亡が確認されました。警察によりますと、現場は片側2車線で、男性は改修工事のため追い越し車線の規制が始まる地点で誘導をしていたということです。トラックの運転手は「気が付いた時には男性が道路の中央付近にいて避けきれなかった」と話しています。

## 酒気帯び運転の陸曹長を停職

2016/11/04 16:00

【帯広】陸上自衛隊第5旅団(帯広)は4日、酒気帯び運転をしたとして、同旅団第4普通科連隊の男性陸曹長(53)を、同日付で停職17日の懲戒処分にしたと発表した。同旅団によると、陸曹長は9月4日午後7時半ごろから同10時半ごろまで、広尾町の十勝港第2埠頭にキャンピングカーを止め、妻と同僚隊員の3人で飲酒。酎ハイと焼酎を飲んだ後、同町内の飲食店にキャンピングカーで1人で移動し飲酒を続けた。翌5日午前2時40分ごろ、広尾町内の交差点で滑り止め用砂保管容器に衝突。同埠頭に戻っていた同午前4時ごろ、交差点での目撃情報を基に駆けつけた警察官の検査で呼気1リットルあたり0.4ミリグラムのアルコールが検出され、道交法違反(酒気帯び運転)の疑いで書類送検された。

## 停車中の乗用車の後方で、大型トラックも停車、後続トラック衝突

トラックから降りていた運転手と乗用車の男性死亡

◇前方で…何が起るかわかりません 車間距離を十分にとりましょう◇

2016年10月23日 10時07分

23日午前4時すぎ、山口県の中国自動車道で、乗用車と大型トラック2台の合わせて3台が関係する事故がありました。この事故で、一方の大型トラックを運転していた男性が死亡したほか、乗用車に乗っていた男性が意識不明の状態の病院に搬送されましたが、その後、死亡しました。警察によりますと、何らかの理由で停車していた乗用車の後方に大型トラックが停車し、トラックの運転手が道路上に降りて乗用車に近づいたところ、後続の大型トラックが乗用車に衝突し、トラックの運転手もはねられたとみられるということです。後続の大型トラックを運転していた男性にはけがはないということです。